*2016年09月第2版（新記載要領に基づく改訂）
2008年02月新様式第1版

認証番号：220ALBZX00014000

類別：歯科材料　01　歯科用金属
管理医療機器　　一般的名称：歯科鋳造用金合金　　JMDN 70767000

クリンデント　ピージーエス１０

【禁忌・禁止】
本合金又は類似成分の合金に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

＊該当規格：JIS T 6116:2012「歯科鋳造用金合金」（タイプ4）

[成分・分量]

成　分	分　　量
金	71.0 %
銀	9.0 %
白金	2.0 %
パラジウム	1.98 %
銅	14.67 %
その他　イリジウム、亜鉛	

[形状・構造・原理]
光沢のある板状金属片で、鋳造によって修復物形状とし、歯科修復物、補綴物又は装置などを作製する。

[性能等]

溶融温度	液相点	945 ℃
	固相点	900 ℃
熱処理	軟　化	硬　化
耐力	380 MPa	670 MPa
伸び	35 %	12 %
ビッカース硬さ	180 HV	280 HV
密度	14.9 g/cm³	
鋳造温度	985～1005 ℃	

【使用目的又は効果】

歯科修復物、補綴物又は装置を作製し、主としてバー、クラスプ、床、フレームワークなどに用いる。

＊【使用方法等】

[使用方法]

(1) ワックスアップ・埋没・焼却
① ワックスアップは、通法によって行って下さい。
② 埋没材は、クリストバライト系埋没材を使用して下さい。
③ 焼却は、埋没材の取扱説明書等に従って焼却して下さい。

(2) リング加熱
リング加熱は、焼却後500℃～550℃に炉冷してから鋳造して下さい。

(3) 溶解鋳造
① 溶解鋳造は、遠心鋳造機又は真空加圧鋳造機をご使用下さい。
② ガス・エアー混合炎等を使用する場合は、還元炎部分で溶解し、金属が球状になり、回転し始めた時点で鋳造を行って下さい。
③ 長時間の加熱は鋳造欠陥の原因となりますので避けて下さい。

(4) 研磨
研磨は，通法に従って行って下さい。

(5) 熱処理
・軟化処理：800℃の炉中に10分間保持し、水中急冷して下さい。
・硬化処理：軟化処理後、350℃で 20 分間保持し、大気放冷して下さい。

(6) ろう付
通法に従ってろう付して下さい。
・適用ろう材：歯科用金ろう（例　石福金属興業製の「K18ロウ」又は「K16ロウ」）
・適用フラックス：石福金属興業製の「フラックス#6」

[使用方法に関連する使用上の注意]
① 本合金を再溶解する場合には、サンドブラスター等で埋没材、酸化膜を完全に取り除き、新しい合金を等量以上加えて溶解すること。
② 歯科用フラックスを使用する場合には、その取扱説明書等に表示してある使用上の注意事項を守ること。

＊【使用上の注意】

(1) 重要な基本的注意
① 本合金の使用により発疹，皮膚炎などの過敏症状が現れた患者には，使用を中止し医師の診断を受けさせること。
② 本合金の鋳造設備付近には、局所排気装置、換気扇などを設けて、密閉した部屋での作業を避け、鋳造により発生する粉塵及び蒸気を吸入しないこと。
③ 本合金の研磨作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。
④ 溶解、鋳造作業時には金属の飛散などによる目の損傷や火傷を防ぐため、保護めがね及びその他の保護具を使用すること。
⑤ 他の合金と混溶しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]
歯科医療従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：石福金属興業株式会社
住　　所：〒340 - 0002
埼玉県草加市青柳2丁目12番30号
電 話 番 号：048 - 931 - 4581

発　売　元：ケーオーデンタル株式会社
住　　所：〒167 - 8551
東京都杉並区松庵1丁目18番13号

製品に関するお問合せ先
石福金属興業株式会社　歯科材営業部
電話番号　03 - 3252 - 8471